

Zoom Up

人

後輩のみんなにも、
西根中学校の吹奏楽部らしい演奏を
続けてもらえたらうれしいです



き

つかけは小学3年生
の冬。母の江利子さ
んの「やってみたら」
との誘いから、大更小学校の
吹奏楽部に入ったのが始まり
だった。その当時のメンバー
は、ほとんどが西根中学校の
吹奏楽部に所属し、固いきず
なで結ばれている。

楽しみながらいい演奏をでき
たことの方がうれしかった」
と笑顔のをぞかせた。部長と
して、吹奏楽部のみんなから
信頼を集めるのは、この優し
い人柄も大きな要因の一つな
のだろう。

「東北大会で入
賞できるとは思
いませんでした」と
小袖紀さんは謙虚
に語る。その一方
で、夏休み返上で
練習を重ねたこと
が自信につながり、
いい演奏ができそ
うな予感があった
のだという。

大会に向けて意
気を上げる部員た
ちをアクシデント
が襲った。大会を
目前にして数人が
体調を崩し、決し
て万全とはいえな
いコンディション
で本番に臨むこと
になったのだ。
そうした状態で
の銀賞入賞だが、
小袖紀さんは「銀
賞を受賞したこと
よりも、みんな
で楽しむがらいい演奏をでき
たことの方がうれしかった」
と笑顔のをぞかせた。部長と
して、吹奏楽部のみんなから
信頼を集めるのは、この優し
い人柄も大きな要因の一つな
のだろう。

練習は平日の部活動のほか、
休日も行われることがある。
また、コンクールへの出場の
ほかにも市内のさまざまなイ
ベントや病院の慰問活動での
演奏も行っており、そうした
機会に喜んでもらえることが
何よりも好きなのだと小袖紀
さんは笑顔で語る。

音楽で大切なことは、笑顔
で楽しみながら演奏すること
に加えて、練習で努力し、感謝
の気持ちを忘れないことなの
だという。心に残るいい演奏
をするための秘訣だ。

より良い演奏を目指し、小
袖紀さんたち吹奏楽部は今日
も練習を重ねている。

遠藤 小袖紀 さん

●えんどう・こゆき 西根中学校3年生。吹奏楽部部长として
全日本吹奏楽コンクール東北大会で銀賞に入賞するなど、輝
かしい実績を持つ。好きなアーティストは、中学生でプロデ
ビューしたアメリカの日系3世トランペット奏者、エリック・
ミヤシロ。西根中学校吹奏楽部の輝かしい歴史を築いてきた
先輩たちと導いてくれた顧問の吉田哲先生を尊敬する。血液
型O型のいて座。両親と姉の4人家族。大更在住。